

当コーナーは、ご応募いただいた診断士の方に持ち回りで会員執筆の書籍を評していただいております。

経営コンサルティング・ノウハウ 2 仕事の基本



(公財)日本生産性本部
コンサルティング部 編
木下 耕二 著
中央経済社
A5判 232頁
本体 2,500円+税

本書では、仕事の基本を①仕事の基本ステップ、②コミュニケーション、③指示・命令、報告・連絡・相談、④モチベーション、⑤リーダーシップ、⑥問題の解決、と定義したうえで、それぞれの解説が体系的になされている。

独断でそれらを区分すると、①は目的の明確化と課題の抽出、およびロードマップ作成など土台の部分、②～⑥は課題解決に対する方法論、と分けられる。

企業にとっての真の目的は何か。目的があやふやで履き違えているケースは、特に企業のみドルマネジメント層できわめて多い。①のしっかりとした設計なくして、

②～⑥の効果的な機能はあり得ない。

しかしながら企業内で、①の部分があやふやで偏ったまま、②～⑥を実行してしまっているケースは非常に多い。経験則や断片知識に頼り、課題に着手したものの、やがて行き詰まるケースを数多く見てきた。論理ばかりで、実行に移さない評論家タイプも問題だが、行動は早いが首尾一貫性や論理性の欠ける管理者の行動は、企業にとってロスが多いと思う。

簡潔に整理され、ポイントが押さえられた本書の購入対象者は、ミドルマネージャー、中小経営者など、現場実践者である。いま一度、仕事の基本に立ち返り、フレームワーク的に仕事の流れを整理する際、ぜひ参考にさせていただきたい1冊だ。

(著者は東京都中小企業診断士協会会員)



評・村田 研也

(福岡県中小企業診断士協会)